

# 働き方改革アクションプラン

<b>会社名</b>	株式会社 横浜銀行	<b>従業員数</b>	②1,000人～4,999人
------------	-----------	-------------	----------------

## ①長時間労働の是正（KPI）

✚ 法定超時間外数（※）について、2017年度・2018年度の2ヵ年累計平均で2016年度実績比10%削減する

（※）統括管理役職者、企画業務型裁量労働従事者、出向者を除く

## ①長時間労働の是正（行動計画）

- 「働き方改革」の取り組みの趣旨や目的等を定期的に発信する
- 2018年度より導入するフレックスタイム制度の定着・活用を促進する
- 退行後の時間の有効活用による一人ひとりのレベルアップ、業務の効率化等により銀行全体の生産性の向上を図る

# 働き方改革アクションプラン

<b>会社名</b>	株式会社 横浜銀行	<b>従業員数</b>	②1,000人～4,999人
------------	-----------	-------------	----------------

## ②年休の取得促進（KPI）

✚ 2018年度の年次有給休暇の取得率を60%以上とする

## ②年休の取得促進（行動計画）

- 制度休暇の計画的な取得・時間単位の年次有給休暇の活用を推奨する
- 管理役職者による積極的な休暇取得を促進する

# 働き方改革アクションプラン

会社名	株式会社 横浜銀行	従業員数	②1,000人～4,999人
-----	-----------	------	----------------

## ③柔軟な働き方の促進（KPI）

- 2018年度末までにフレックスタイム制または企画業務型裁量労働制を利用する行員（※）の割合を9割以上とする  
（※）統括管理役職者、出向者を除く

## ③柔軟な働き方の促進（行動計画）

- 2018年度より導入するフレックスタイム制の利用促進のため、好事例を収集し、継続的に行内に発信する
- 柔軟な働き方について、制度の定着状況等を調査し、今後の施策に活用する

### 【横浜銀行の目指す姿】

